

広がる「『自然首都・只見』伝承産品」



復活した只見の手毬

「〜ブナと生きる雪と暮らす〜」『自然首都・只見』伝承産品』は、ユニスコエコパークの理念でもある只見町の豊かな自然と人の良好な関係を体現した地域ブランド産品です。只見産の原材料を使い、昔ながらの知恵や技術を活用した産品で、町の厳正な基準を経て、現在35品目が認証されています。

その中の一つ「只見の手毬（てんまり）」が広がりを見せています。実はこの手毬の芯には「ゼンマイの綿毛」が使用されているのです。



▲ゼンマイ



▲ゼンマイの綿毛

ゼンマイ折りが盛んだった只見町では、加工する際に出るゼンマイの綿毛を布団や半纏、手毬の芯にして無駄にすることなく活用してきました。時代が進むにつれてその伝統は途絶えてしまいましたが、令和元年に手毬の魅力に惚れ込んだ「ちよの会」のメンバーによって復活を目指すことになりました。「ちよの会」では、ふるさと館田子倉に残っていた故皆川ツギさんの手毬や書籍を参考に、他、町内で熱心に聞き込みを行い、試行錯誤を重ねてついにゼンマイ綿の「只見の手毬」を復活させました。



▲町内での聞き込みの様子



▲復活した只見の手毬
(ゼンマイ綿だけでなく只見町の伝統的な手毬模様も復活)



▲「只見の手毬」についてのインタビュー動画はこちらからご覧になれます

「只見の手毬」は、令和2年に『自然首都・只見』伝承産品』に認証され、置物の他、ストラップやネックレス、ピアス・イヤリングなどの商品展開も多様で、現在はふるさと納税返礼品にもなっています。令和3年に関東の大型デパートで展示された他、縁結びで有名な三石神社のお守りにもなり、参拝客のご縁をつなぐお手伝いをしています。そして、本年度は筑波実験地植物園の「つくばシダ展」にゼンマイとともに展示されました。また、現在は、ホテル雅叙園東京にて開催中の「百段雛まつり2024」（3月10日まで開催）で、全国の手毬とともに展示されています。

他にも、手毬文化の復興普及活動などを行う「はれてまり工房」から、「ちよの会」が取材を受け、その活動を紹介する動画が作成されました。動画はYouTube（動画配信サイト）で公開されています。



▲「はれてまり工房」による「ちよの会」の取材の様子

このように、只見町の伝統的なゼンマイ文化とともに只見町の手毬が全国に広がっています。鮮やかな模様の中にも素朴な温かさがある「只見の手毬」は、ちよの会のメンバーがひと針ひと針心をこめて作っていますので、ぜひ、一度ご覧ください。



▲故皆川ツギさんの手毬(写真奥)を参考に、ちよの会が復活させた只見町の伝統的な模様の手毬(写真手前)



▲手毬ができるまでの工程

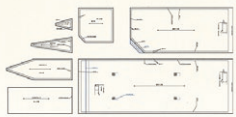
新たに2つの産品が認証

様々な広がりを見せる『自然首都・只見』伝承産品』ですが、今年度は新たに2つの産品が仲間入りしました。

「只見の仕事着型紙（ホソユッコギ・ダフユッコギ）／合同会社メーデルリーフ」と「経木（4寸・5寸・5寸半）／奥会津経木製作所」です。只見の仕事着型紙は、只見町の伝統的な仕事着であるユッコギ（現在で言うモンペ）を自分で製作するための型紙です。昔は仕事着は自分で作るもので、貴重な反物を一切無駄にしない裁断、縫製がされていました。合同会社メーデルリーフではこれらを伝承したいとの思いから、住民を巻き込んだワークショップを経て、現代でも活用できる型紙を完成させました。



▲只見の仕事着型紙（ホソユッコギ・ダフユッコギ）



▲仕事着の型紙

町内や関東の古民家でユッコギを作るワークショップを開催されるなど、積極的にユッコギ文化を広げていきます。



▲自分でユッコギを作るワークショップ

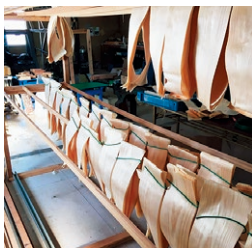


▲叶津番所でユッコギを作る参加者

経木は、木材を厚さ1mm以下の薄い紙状にしたものです。昔は包装材料等に使われていましたが、プラスチックの台頭により製造が激減し、今は見ることすら少なくなりました。一方で、時代は変わり、脱プラスチックなど環境に優しい製品が求められる世の中になりました。



▲経木（4寸・5寸・5寸ハーフ）



▲製作中の経木

奥会津経木製作所は只見町の豊かな森林資源を生かしながら、自然に優しく多様な用途での可能性が秘められている経木を通して、人々のライフスタイルや意識も変えていけたらという思いから、経木の製作、販売を始めました。従来の包装材料以外にも、料理の落し蓋や敷物、さらには端材を使った緩衝材など様々な活用が進んでいます。材料は只見産のアカマツです。



▲おにぎりも美味しく包めます



▲端材を細切りにした緩衝材

最近では取材や研修、木製ストロークを作るための視察もあるなど、これからの時代に大切な視点となって活躍されていきそうです。

只見町の人と自然との共生を体現した素敵な産品である『自然首都・只見』伝承産品をぜひお手に取っていただき、お土産などにもご活用いただければ幸いです。

詳しくはパンフレットをご覧ください。只見町のHPでも公開されています。



▲「自然首都・只見」伝承産品ホームページ



▲「自然首都・只見」伝承産品パンフレット

販売場所（町内）

- ただみ・ブナと川のミュージアム
- ふるさと館田子倉
- 只見町インフォメーションセンター（オンラインショップあり）
- 季の郷湯ら里



▲ただみ・ブナと川のミュージアム「自然首都・只見」伝承産品販売コーナー



▲ふるさと館田子倉「自然首都・只見」伝承産品販売コーナー

問合せ 交流推進課ユネスコエコパーク推進係 ☎ 82-5963